



令和5年度（2023年度）

第 1 2 回 定 例 庁 議

令和5年9月26日(火)午前8時30分～
第一応接室（担当：総合戦略室 内線1111）

1 報告事項

- (1) デジタルシティ松本フォーラム2023について……………（総合戦略局）
- (2) 職員の自転車ヘルメットの着用について……………（交通部・総務部）

庁 議 日 程 に つ い て

第13回定例庁議	10月10日(火)	8時30分～
第14回定例庁議	10月30日(月)	8時30分～

(報告事項)

デジタルシティ松本フォーラム2023について

1 趣旨

地元企業のデジタルマインド形成を主な目的として、「デジタルシティ松本フォーラム2023」を開催することについて報告するものです。

2 開催概要

(1) 名称

デジタルシティ松本フォーラム2023 ～地元企業の課題解決～

(2) 目的

地元企業のデジタルマインドを形成、産官学の観点で地元企業のデジタル化を後押し

(3) 日時

令和5年10月20日(金) 13時から16時30分まで(12時受付開始)

(4) 会場

情報創造館庁舎5階マルチメディアホール(全84席)

(5) 主催・共催

(主催)松本市 (共催)松本ものづくり産業支援センター、松本商工会議所、まつもと Re-Design Hub^{※1}、デジタルシティ松本推進機構(DigiMAT)^{※2}

(6) 来場者の想定

地元中小企業、地元IT関連企業等

(7) 内容

ア デジタルシティ松本推進企業に認定した企業の発表及び優良企業の表彰

イ 基調講演

(株)セールスフォースジャパン 常務執行役員 伊藤 靖 氏

ウ DigiMATの取組発表

エ トークセッション

テーマ 地元企業の課題解決

スピーカー 国立大学法人信州大学 理事・副学長 不破 泰 氏

セイコーエプソン(株) 執行役員 吉野泰徳 氏

(株)セールスフォースジャパン 常務執行役員 伊藤 靖 氏

宮之本副市長

オ 来場者による名刺交換会

(8) その他

メタバース空間を併用したオンライン配信を行います。

3 来場者の募集

(1) 募集期間

令和5年9月26日から10月19日まで

(2) 申込方法

電子申請

(3) 担当・問合せ先

総合戦略局 DX推進本部 デジタルシティ担当



4 予算措置

令和5年度当初予算に1,370千円を計上済み

5 今後の予定

- (1) 市公式ホームページやSNS、まつもと Re-Design Hub や DigiMAT の会員による広報などを通じて周知します。
- (2) 次期開催の市議会総務委員協議会に報告します。

担当	DX推進本部
次長	赤澤 直徳
	(内線 54201)

(参考)

※1 まつもと Re-Design Hub

【概要】地元企業の競争力を高めるデジタル化支援を行う産学官金による連携組織

【構成】国立大学法人信州大学、(一財)松本ものづくり産業支援センター、(株)八十二銀行、(株)長野銀行、松本信用金庫、松本商工会議所、松本市

※2 デジタルシティ松本推進機構 (DigiMAT)

【概要】地域課題の解決や新しい価値の創造に資するデジタルサービス創出への支援及び地域デジタル人材の育成を行う産学官による連携組織

【構成】正会員：セイコーエプソン(株)、ソフトバンク(株)、(株)テレビ松本ケーブルビジョン、日本電気(株)、東日本電信電話(株)、(株)日立システムズ、Search Space(株)、松本市

特別会員：長野県、国立大学法人信州大学、まつもと Re-Design Hub

(報告事項)

職員の自転車ヘルメットの着用について

1 趣旨

令和5年4月から自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務となったことから、啓発活動を行い、職員のヘルメット着用を進めていますが、更に普及させるため今までの取組みを報告するとともに、職員へ周知することについて報告するものです。

2 経過

- 5. 4. 1 改正道路交通法施行により自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務化
- 4. 4 通勤時におけるヘルメット着用の啓発活動
(本庁の着用率 61%)
- 5. 3 1 松本市役所が『「自転車通勤推進企業認定」宣言プロジェクト』の優良企業に認定
- 7. 2 4 通勤時におけるヘルメット着用の啓発活動
(本庁の着用率 61%)
- 8. 1 職員のヘルメット着用に関する意識調査
- 8. 9 「松本市チャリダー通信」により情報発信を開始し、自転車の安全利用について啓発

3 市職員向けアンケート調査結果(別紙参照)

- (1) 通勤や業務で自転車を利用している方は、全体の約6割と仕事等に関連して自転車を利用している方が多い。
- (2) 自転車利用者のうち、ヘルメットを着用している方(時々着用している方も含む)は、約8割と多い。
- (3) ヘルメット非着用の理由として、髪型が崩れることや努力義務であること(義務ではないこと)が多く挙げられました。

4 今後の取組み

- (1) 庁内広報や定期的な啓発、研修の開催により、職員の通勤や業務における自転車利用の拡大や、ヘルメット着用率及び交通ルール・マナーの向上を図ります。
- (2) 松本市役所が『「自転車通勤推進企業認定」宣言プロジェクト』の優良企業として、市内企業に対して取組みを広く発信し、企業活動における自転車通勤や業務利用の拡大を図ります。

担当

自転車推進課 課長 藤牧 靖次 (2320)

職員課 課長 中田 美弥 (1150)

職員向けアンケート 調査結果

(自転車乗車時のヘルメット着用等について)

松本市交通部自転車推進課
(令和5年9月)

1. 調査概要

■調査概要

目的	自転車の重大事故減少に向けた施策検討のためアンケート調査を行ったもの
調査期間	令和5年8月1日(火)～8月10日(木)
対象者	松本市職員
調査方法	LoGoフォーム
有効回答	389サンプル

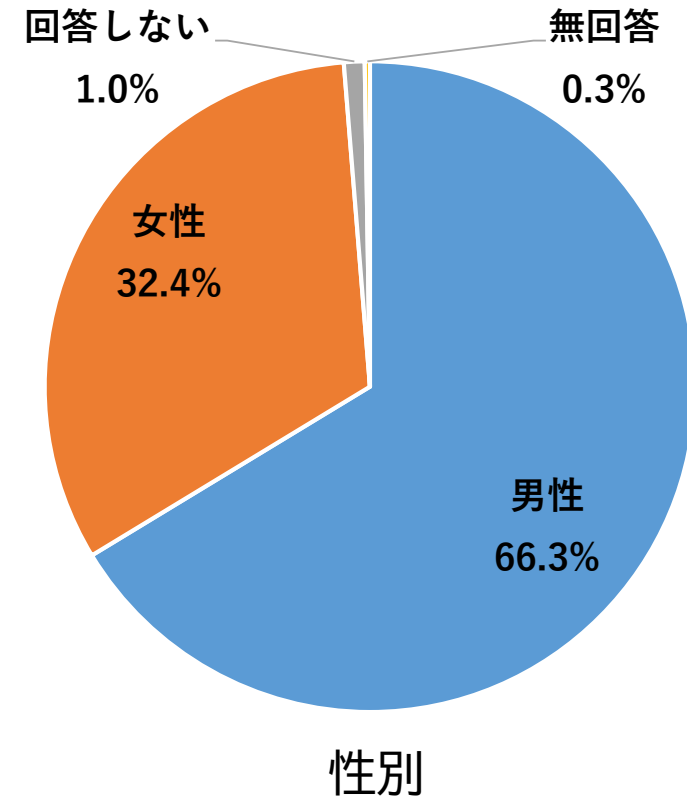
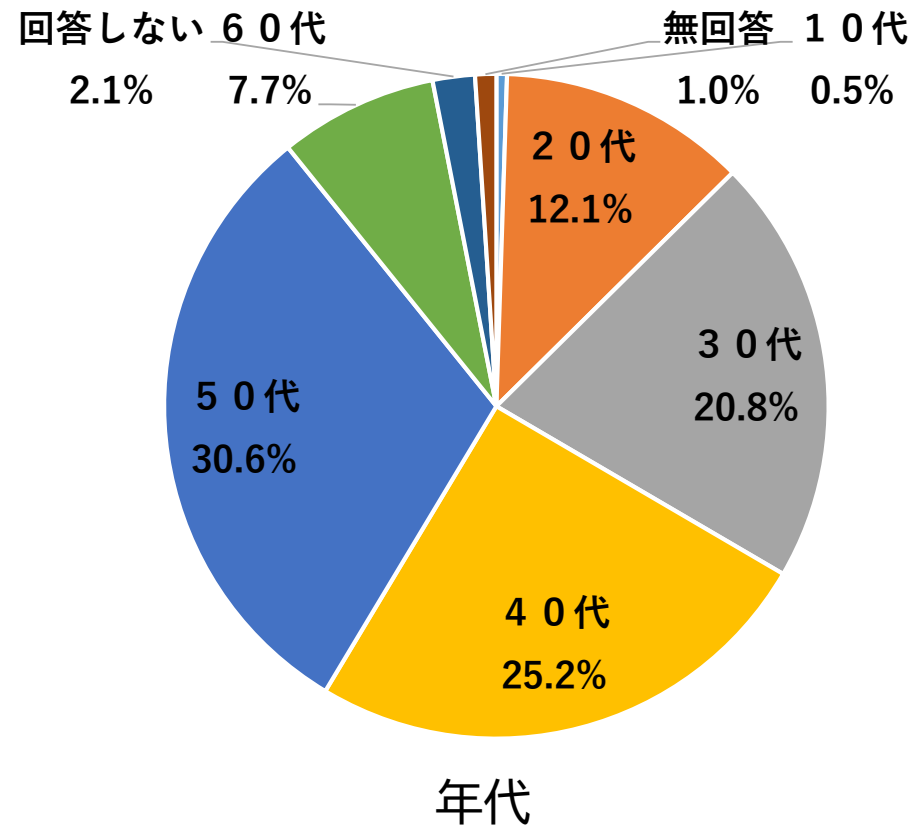
■設問概要

設問分類	設問
個人属性	年代、性別
自転車利用	自転車の利用状況、利用目的
ヘルメット着用 努力義務	努力義務の認知度、努力義務化後の行動変容
ヘルメット着用	ヘルメットの着用状況、着用(非着用)理由、ヘルメット着用義務化となった場合の行動変容
シェアサイクル	シェアサイクルの利用状況、ヘルメット着用状況、ヘルメット着用率向上の施策
その他	自由記述

2. 個人属性

■回答者の年代、性別

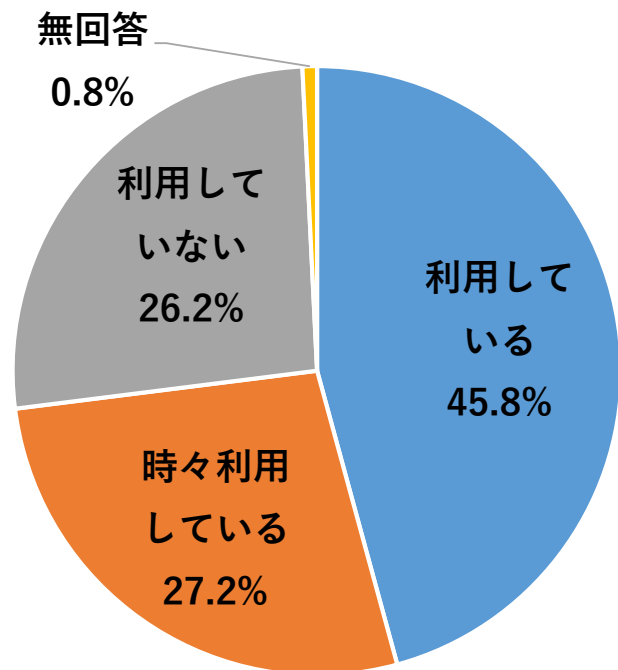
○50代が30.6%と最も多く、次いで40代が25.2%と多い。
○男性の比率が66.3%と多い。



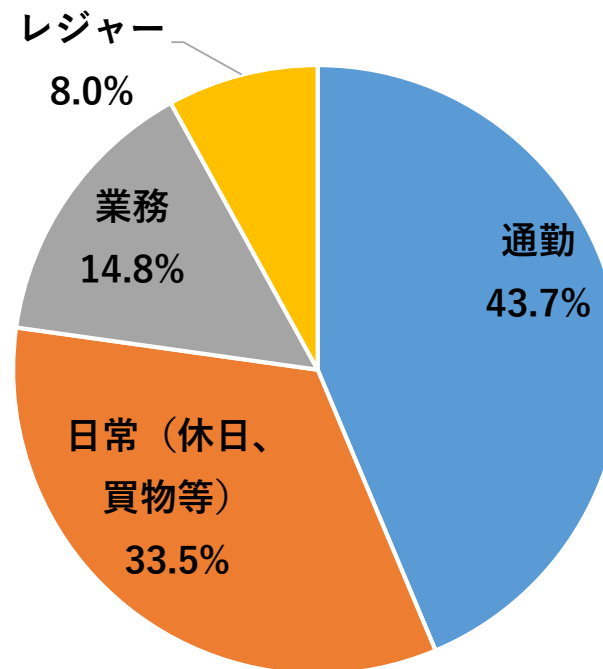
3. 自転車利用

■自転車の利用状況、利用目的

○自転車の利用状況は、「利用している」「時々利用している」を合わせ73%で、多くの方が自転車を利用している。
○自転車の利用目的は、「通勤」「業務」を合わせ58.5%で、仕事に関連して利用している方が多い。



自転車の利用状況



自転車の利用目的

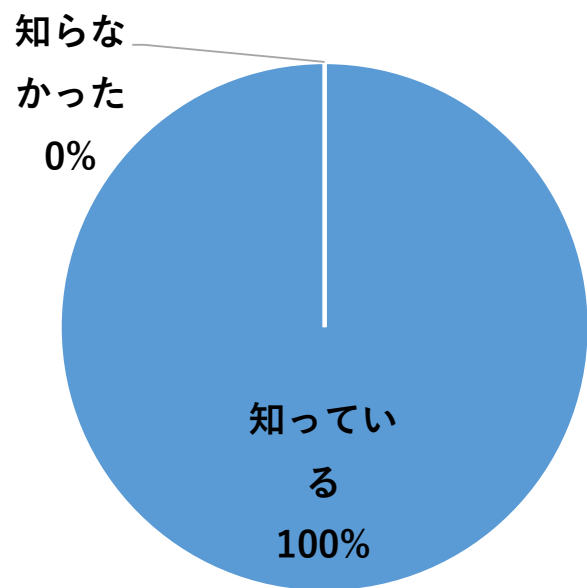
4. ヘルメット着用努力義務

■ヘルメット着用努力義務化の認知度、行動変容

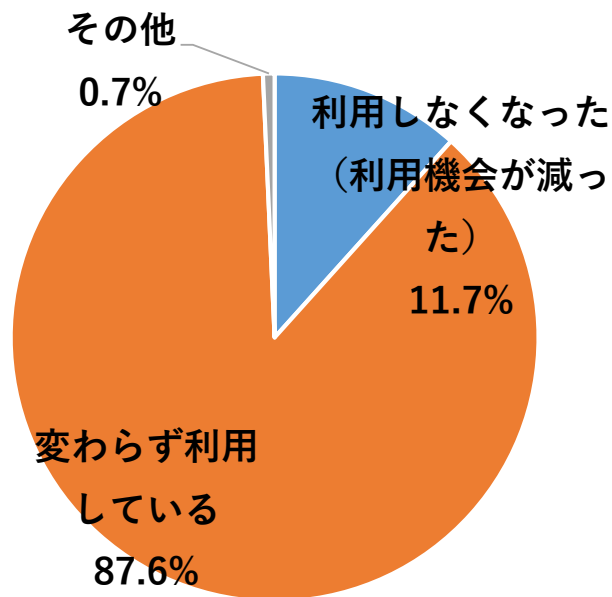
○努力義務化の認知度は100%

○努力義務化後も「変わらず自転車を利用している」との回答が87.6%と大半を占めるが、11.7%の方が「自転車を利用しなくなった(利用機会が減った)」と回答した。

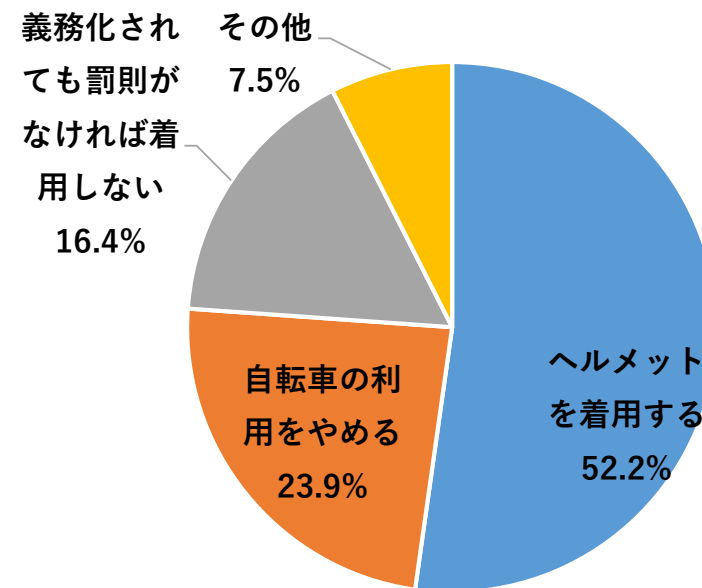
○仮に努力義務が義務化された場合、現在ヘルメットを着用していない方のうち、52.2%が「ヘルメットを着用する」と回答したが、23.9%の方が「自転車の利用をやめる」、16.4%の方が「罰則がなければ着用しない」と回答した。



ヘルメット着用努力義務化の認知度



努力義務化後の自転車利用

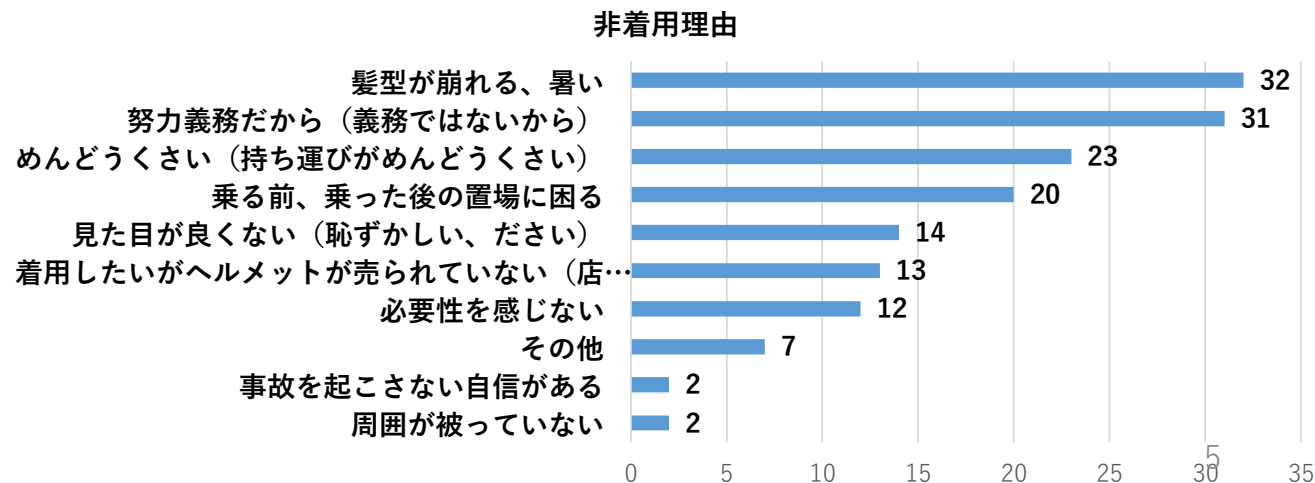
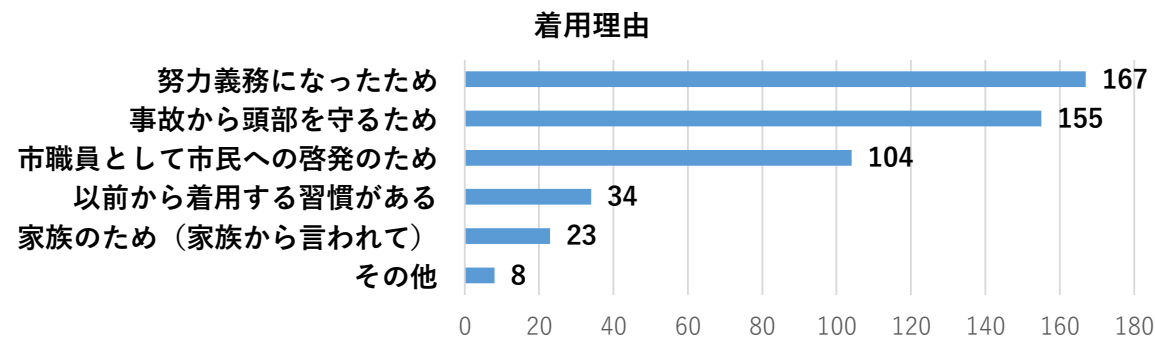
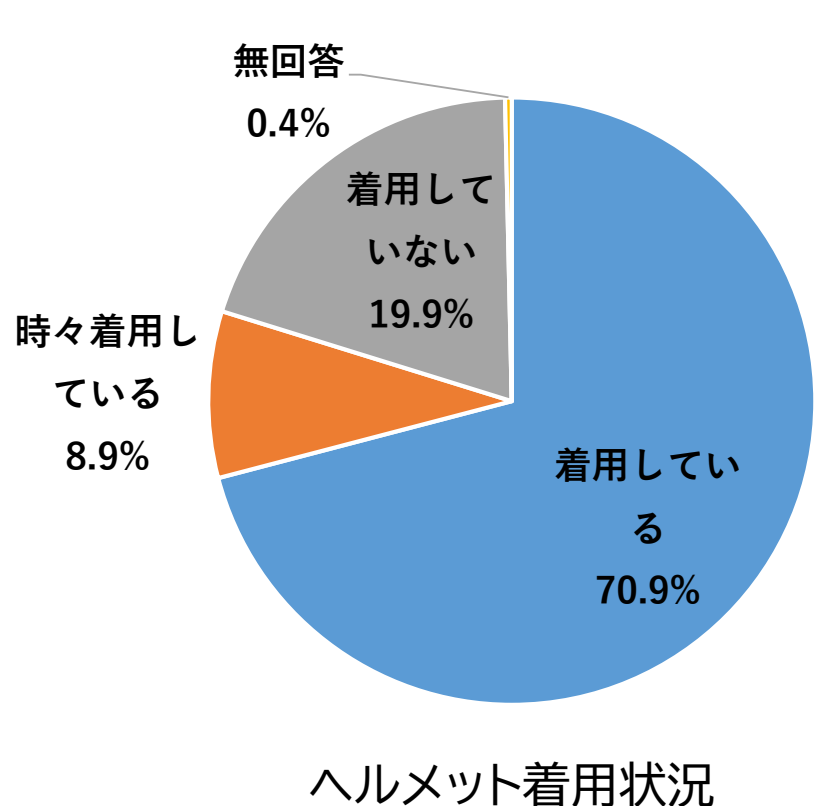


義務化となった場合のヘルメット着用(現在着用していない方のみ回答)

5. ヘルメット着用

■ヘルメット着用状況

- 「着用している」「時々着用している」を合わせると、79.8%と多くの方がヘルメット着用に努めている。
- 着用理由としては、「努力義務になったため」が最も多い。
- 非着用理由としては、「髪型が崩れる、暑い」が最も多く、次いで「努力義務だから」が多い。

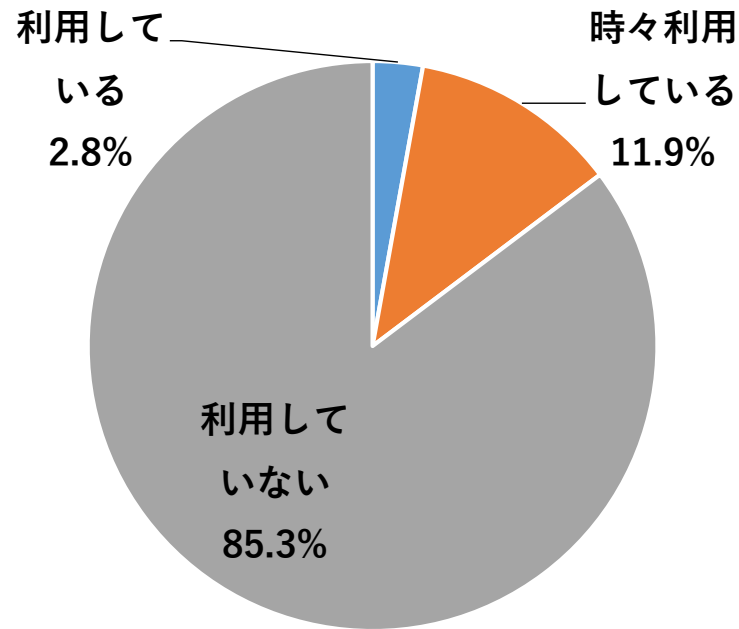


6. シェアサイクル

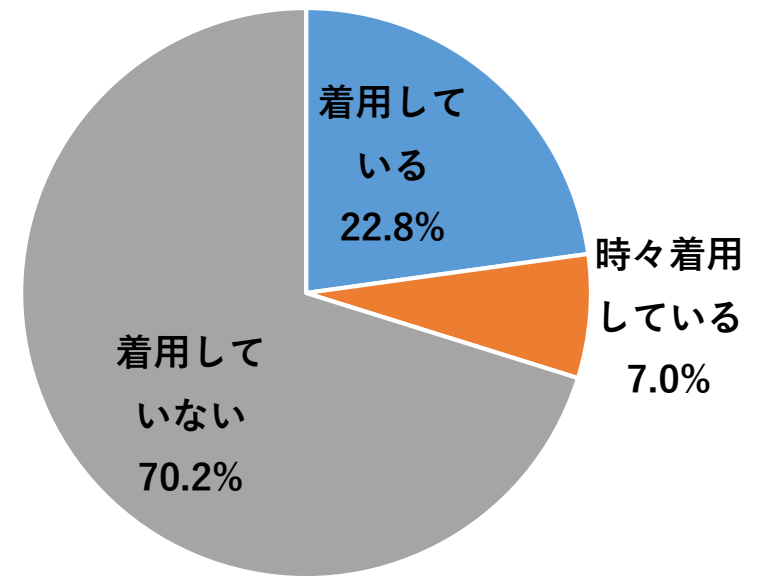
■シェアサイクルの利用状況、ヘルメット着用状況

○シェアサイクルの利用者は、「利用している」「時々利用している」を合わせると、14.7%

○シェアサイクル利用者のヘルメット着用について、「着用している」「時々着用している」を合わせると、29.8%の方が着用に努めている。



シェアサイクルの利用状況

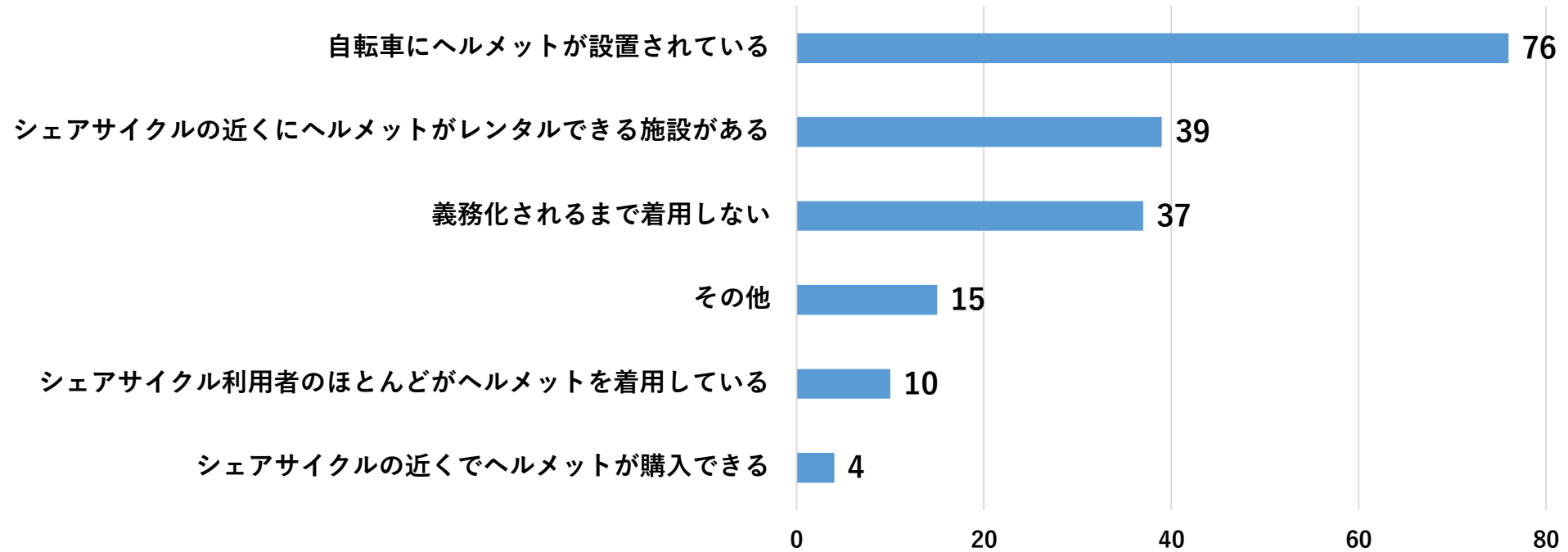


シェアサイクルのヘルメット着用状況

6. シェアサイクル

■シェアサイクル利用者のヘルメット着用に有効な施策等

○「自転車にヘルメットが設置されている」との回答が最も多く、次いで「シェアサイクルの近くにヘルメットがレンタルできる施設がある」との回答が多い。



シェアサイクル利用者のヘルメット着用
に有効な施策等

7. 自由記述

1. ヘルメット着用について

(1) 肯定的意見

- | |
|---|
| ① 安全に勝るものはないので、ヘルメット着用は良いと思います。 |
| ② ヘルメット着用の自転車が増えてきたと思います。 |
| ③ 万が一の事故の際も安全が確保できるため、ヘルメット着用の徹底を引き続き行ってほしい。 |
| ④ 安全のためにヘルメット着用は有効だと思います。若い命を守るためにも、自転車利用が多い高校生にもっと着用していただきたいです。 |
| ⑤ 努力義務となっているが、職員については義務化したほうがよいと思う。朝の通勤時、ヘルメットをつけていない職員や、右側通行をする職員、歩道内を走行する職員を多々みる。市民への示しが見つからない。
万が一の事故の際も安全が確保できるため、ヘルメット着用の徹底を引き続き行ってほしい。 |
| ⑥ 通勤中も公務災害の対象になるので、ヘルメット着用を職務命令とすることを考えてもいいと思います。 |
| ⑦ 自分の身を守るために必要なことだと思う。まずは、職員から着用すべきではないか。 |
| ⑧ ヘルメット着用が努力義務になったことから、市職員として通勤時にはヘルメットを着用しなければならないと思い着用している。プライベート(休日等)ではほとんど着用していない。 |
| ⑨ 努力義務ではなく、罰則や罰金の規定を盛り込み、バイクと同様に義務としたほうが良いと思います。 |
| ⑩ 高校生の息子が、どうやっても着用しない。努力義務ではなく、必須にしてもいいくらい。 |
| ⑪ 街中で自転車の行動を見ていると、案外自転車が軽車両と実感してないと思いました。自分の身を守ることも含めて、ヘルメットは積極的に付けて欲しいです。 |

7. 自由記述

1. ヘルメット着用について

(1) 肯定的意見

- ⑫ 自転車は大変便利なツールです。地球に優しい・おサイフに優しい・足腰に負担の少ない軽運動等々・・・
しかし、リスクもあります。転倒・単独事故・もらい事故の可能性があります、特に頭部への打撃では死亡・負傷・後遺障害の可能性があります。ヘルメット着用で死亡率が半減するとの記事がJAFの記事にもありました。
私がヘルメットを着用するのは、自転車事故程度で死にたくない、後遺障害で事後の人生を縛られたくない、そして家族を悲しませない・不幸にたくないからです。
頭部への打撃で死亡した方を見たことがありますか？ 自転車事故ではありませんが、私は9年前(10月1日)見ました。今でも目に焼き付いていて・・・多分一生忘れないと思います。
自分のため、自分の大切な人のためにも、ヘルメットを着用しましょう。ヘルメット着用して三ヶ都を颯爽と自転車で走る姿・・・素敵だと思いますよ！

(2) 否定的意見

- ① 夏は暑いので着用していません。職員といえども着用は自由だと思います。
- ② 子供のヘルメットは必要だと思うが、大人まで強制するのはおかしいと思う。個人の判断に任せて欲しい。
- ③ 遊びに行く時に荷物になる。
- ④ 蒸れるのが嫌なのでヘルメットは着用しません(義務化されれば自転車に乗りません)
- ⑤ 自転車を日常的には利用しないが、ちょっと利用したい時にヘルメットを持ち合わせていないので、面倒くさくなって、自転車の利用を避けてしまう。

7. 自由記述

1. ヘルメット着用について

(2) 否定的意見

- | |
|---|
| ⑥ ヘルメット着用義務化となると、自転車を利用することは、ほぼ無いと思います。 |
| ⑦ 電車通勤し、駅に自転車を置いていたが、ヘルメットを持って電車に乗りたくないし、自転車につけておいても雨ざらしになる。結果的に自転車を利用しなくなった。 |
| ⑧ ヘルメットのことを気にしなければならないなら、利用を諦めます。 |
| ⑨ 努力義務なのに、ヘルメットをしない人に対して、差別や人権侵害がないように対応してほしい。 |
| ⑩ 努力義務を強制しないでください。 |
| ⑪ 努力義務なのに強制するような風潮に疑問を感じる。 |

(3) その他意見

- | |
|---|
| ① 自転車のヘルメット着用の安全性について、法令で義務化するほど効果があるのか疑問 |
| ② ヘルメット着用が努力義務化されるようになってから、職場の自転車とシェアサイクルを利用しなくなってしまいました。何とかヘルメットを手に入れて、元通り利用したいです。 |
| ③ 自分に合う気に入ったヘルメットがあればすぐに購入し着用する。 |
| ④ ヘルメットを使用したほうが良いと思いますが、値段が高い。 |
| ⑤ ヘルメットの義務化がされないと、着用はなかなかすすまないと個人的には思う。 |

7. 自由記述

1. ヘルメット着用について

(3) その他意見

- | |
|---|
| <p>⑥ ヘルメット着用については、原動機付き自転車と同様に義務化にしなければ、100パーセントの着用率にはならないと思いますし、重大な事故も減少しないと考えます。</p> |
| <p>⑦ 自転時置き場にヘルメット用の無料コインロッカーがほしい。</p> |
| <p>⑧ 通勤、通学で駅の駐輪場を利用している人は、ヘルメットを持って電車に乗らなくてはいけないのでハードルが高い。市の駐輪場にヘルメット用のロッカーを設置すれば、着用率が上がるのではないのでしょうか。</p> |
| <p>⑨ 自転車に乗る際にヘルメットを着用することが習慣化しておらず、たまに忘れることがあります。籠など自転車本体に、施錠してヘルメットを保管しておけると、着用のし忘れを防止できる他、利便性も上がり、着用しやすくなると思います。</p> |
| <p>⑩ ヘルメットは、命を守るために必要なものと認識していますが、高校生は駅に駐輪する際に一緒に置いておくと盗まれたり、いたずらの心配があり、かといって持ち歩くことは大変です。松本駅等の市営駐輪場(特に定期契約している場合)で、自転車をとめる部分にヘルメットも一緒に置いて盗難防止の施錠もできるような対策があると、高校生の着用が進むのではないかと感じます。</p> |
| <p>⑪ 自分は自転車を持っていないため乗らないが、日々新聞やテレビなどを見ている中で、ヘルメットの着用が定着しない理由として、考えられる理由は、「置き場所に困る、夏場は暑い、髪型が崩れる(特に若い世代)」が大きいと考えられる。
デスクにおける冷房の条件整備、ヘルメット置き場等の整備により、少なからず改善するのではないかと。</p> |
| <p>⑫ ヘルメット着用の習慣化には、未成年の行動変容が必要と思います。中学まで着用していても(学校の規則などで実施)、高校生になって着用しなくなるのは(校則にないから自由)、もったいない気がします。モデル高校からの発展を期待します。</p> |
| <p>⑬ ヘルメット着用の推進に否定的というわけではないですが、つける人、つけない人、業務中はつける人のように、もうすこし個人の選択の自由があってもいいのかなと思います。</p> |

7. 自由記述

1. ヘルメット着用について

(3) その他意見

⑭ ヘルメットを着用したくない人は、髪型を気にする人だけではないでしょうか。それ以外の方は、短い距離ならかぶらなくてもいいとか、ヘルメットを買いに行くのが面倒だったり、周囲もかぶっていないから自分もかぶらなくていいと思っている人だけではないでしょうか。自転車に乗る＝ヘルメットになるのであれば、自転車の普及率が下がるのも覚悟しなければならないかもしれません。自転車の魅力には、手軽に乗れるということもありますから。スポーツタイプの自転車ではヘルメットなら格好もつきますが、ママチャリでヘルメットというのはなじまない気もします。1km以内の近所のスーパーマーケットに夕飯の買い物に行くのにヘルメットをかぶらなければいけないのなら、荷物が軽ければ歩き、重ければ車になってしまいそうです。通勤でもあまりヘルメット、ヘルメットと言われるのなら、車やバスにしようと思う方がいてもおかしくないと思います。

⑮ 松本市として力を入れていく取り組みであるならもっと政策アピールすべき。普及のための補助を検討すべき。

2. シェアサイクルについて

(1) 料金について

① シェアサイクルの金額が高いと感じる。

② シェアサイクルについて、現金での支払いを可能にしてもらいたいです。

(2) ステーションや自転車の拡充について

① 北松本駅のシェアサイクルを通勤に使いたくても利用可能な自転車が無い。利用頻度が多い場所だと思うので、台数を増やしてほしい。

② シェアサイクルを、すべての出先機関含む市役所庁舎、主要駅の近くに配備してほしい。E-bikeもさらに推し進めてほしい。

7. 自由記述

3. シェアサイクルのヘルメットレンタルについて

(1) 否定的意見

- | |
|--|
| ① ヘルメットの共有は衛生的に無理。普段からヘルメットを持ち歩くわけではないのでシェアサイクル利用時に着用は不可能 |
| ② ヘルメットのレンタルは、直接人体に触るので、衛生上の観点から厳しいのではないかと。 |
| ③ 他人とヘルメットを共有したくない。シェアサイクルのためにヘルメットを持ち運ぶことは考えられないので、シェアサイクルにならなくなる。 |
| ④ シェアサイクルについて、誰が触ったか分からない、どんな使い方をしたのか分からないといった点から、できれば使いたくないと感じています。安全面、衛生面において不安が大きいです。 |
| ⑤ シェアサイクルは暫く利用していないが、ヘルメット着用の必要があるとなると利用しにくくなると感じている。 |

(2) その他意見

- | |
|--|
| ① ヘルメットのレンタルは抵抗がある。きちんと管理ができていれば、シェアサイクルを利用したい。 |
| ② 普段自転車を利用しておらず、利用するならシェアサイクルになると思うが、普段持ち歩くことがないヘルメット着用は難しい。安全性の面でヘルメット着用は必要と感じるが、ヘルメットのレンタルは衛生面が気になる。 |
| ③ ヘルメットのサイズは個々で調整が適切だが、レンタルや共有だと頭部を守れるかは懸念材料の1つです。 |
| ④ ヘルメットを共有するのは抵抗があるので、消毒がしっかりされていることがわかれば利用するかもしれない。 |
| ⑤ ヘルメットを着用したいと考えているが、電車通勤で、駅からレンタサイクルを利用しているが、ヘルメットという大きな荷物を、通勤時（電車や徒歩時）に持ち歩くことは困難。強度を損なうことなく折り畳めるヘルメットなど持ち運びに邪魔にならないヘルメットがあれば、利用したいところ。 |

7. 自由記述

4. 交通ルール、交通安全について

(1) 信号機のある交差点の通行について

- | |
|---|
| <p>① 先日、市民タイムスに載った、「自転車が自転車用の路側帯を走ってきた場合、車両用の信号に従う」という規則を、私は知りませんでした。大変危険なことだったと考えます。私だけが知らなかったのなら、私だけ注意すればよいと思うのですが、もし、大勢の方が知らないようでしたら、広報などを使って啓発をお願いしたいと思います。</p> |
| <p>② 自動車のみが青信号の際に自転車が直進し、交差点を渡るところを何度か目撃します。（特に松本郵便局南側のスクランブル交差点で、通勤時間帯です。）
左折する車が巻き込む恐れがあるのですが、啓発活動で危険な横断を周知できないでしょうか。
また、高砂通りを高校生が通学時間帯に猛スピードで走るの、歩行者とぶつかりそうになる現場も目撃します。
ヘルメットの着用と合わせて、自転車運転のマナーを案内していただけないでしょうか。</p> |
| <p>③ 郵便局の交差点で車の信号と合わせて自転車で通過すると、信号無視を指摘されているような目で見られて気分が悪い。
立て看板等を設置してほしい。</p> |
| <p>④ 自転車レーンを走行していてスクランブル交差点を直進する場合、車両用の青信号に従うのが正しいと思って走行している。
しかしながら、歩行者用信号が青になるまで止まっている自転車が多いため、とても不安になる。どのように走行するのが正しいのか指導してもらえるとありがたいし、自分が間違っていれば従いたい。</p> |
| <p>⑤ 歩車分離の交差点において、自転車レーンを走行しているのに車両用信号で進まず歩行者用信号で横断しているのをやめるよう啓発してほしい。</p> |
| <p>⑥ 以前は他県に住んでいて、首都圏でスポーツとして自転車に乗っていました。
松本市は信号も多く、スクランブル交差点も増えているので、走行ライン（矢羽根等）の啓発だけでなく、信号設置箇所の走行方法の啓発も必要だと感じています。</p> |
| <p>⑦ 自転車は軽車両に分類されるため、交差点では基本的に車用の信号に従う必要があることについてもっとPRしてほしい。</p> |

7. 自由記述

4. 交通ルール、交通安全について

(2) 交通安全教育や啓発の強化について

- | |
|--|
| ① 道路の横断、右折方法について、ルールを守らない方を多く見かけます。身近な場所で、自転車のルールを学ぶ機会を設けると良いと思います。 |
| ② 高校生のマナーが悪いことが多く(ヘルメット未着はもちろんレーンの逆走や並走など)研修や啓発の強化をお願いしたい。 |
| ③ 普段自動車を運転する側としては、自転車利用者の増加に伴い、ルールを守らない人が大変増えてきているように感じます。以前は高校生だけに注意すれば良かったのですが、最近は大人の自転車の方がいつどこから飛び出してくるのか、どこへ曲がるのかわからず、本当に怖いです。ヘルメット以前のルール順守を徹底していただきたいです。 |
| ④ 事故を起こした後のダメージの心配よりも、起こさないことに力を入れるべきだと思います。夜間に無灯火で横並びで走行している高校生や、平気で右側通行してくるサラリーマンなどに、モラル、ルールを徹底することの方が大事。ヘルメットの強制は、自転車利用から自動車利用への切り替えを促すことにつながり、ゼロカーボン施策の逆行にも繋がりがねない気がします。 |
| ⑤ 自転車の交通ルールが今ひとつ理解できていない。
ワンポイントアドバイスのように少しずつ周知していただけるとよい。 |
| ⑥ 自転車の基本的ルールを積極的に啓発する必要があります。 |
| ⑦ 自転車レーンがある道路にもかかわらず歩道を自転車で通行する市民が多いので、街頭啓発と指導を松本警察署と連携して実施してください。 |
| ⑧ 以前から自転車で日本横断や県内縦断等していますが、自転車には免許制度がないためか、自転車の位置付け(軽車両)を知らない人が多く、自転車の交通ルールを知らない人が多いです。学校等においても道路交通法に基づく交通ルールやマナーの教育をお願いします。 |
| ⑨ 高校生、大学生などスピードを出す人に限ってヘルメットを着用していないと思う。警察機関と協力して出前講座とかビラ配りなどを実施してほしい。電動キックボードや、強力なアシスト付きの電動自転車の取り締まりも強化してほしいです。 |

7. 自由記述

4. 交通ルール、交通安全について

(2) 交通安全教育や啓発の強化について

- | |
|---|
| <p>⑩ 普段、自転車で通勤していますが、駅前から通学する学生の一時不停止や逆走、斜め横断が目立ちます。また、学生に限らず、未だにイヤホンを着用し運転している人、先月は雨の日に傘を持ち片手で運転している人も見かけました。
市職員でもイヤホンの着用、斜め横断をされている方を何度か見たことがあります。(斜め横断については交通部の方)
事故や重傷リスクを懸念するのであれば、ヘルメット着用の推進以上に、運転する側の意識改善を促す取り組み、マナーの周知・定着がより一層必要だと感じています。</p> |
| <p>⑪ 松本警察署交通課と連携して、自転車通行空間を逆走する自転車を指導してもらいたい。
というのも、ヘルメットは努力義務であるが、逆走は明確な法律違反である。そして、ヘルメットを着用せず怪我をしたとしても、それは本人の責任に帰するが、逆走は順法精神あふれる他の自転車乗りに怪我をさせる恐れがある。
他者に危害を加える恐れのある行為こそ優先的に改善していくべきと考える。</p> |
| <p>⑫ 頭部損傷による自転車死亡事故を減らしたいことからのヘルメット着用ですが、自転車の乗り方から見直した方が良いと考えます。
歩行者と自動車の両方に対して、自分が他人に迷惑をかけていることすらわかっていない自転車の人もあります。
反対に、自転車にもっと注意して自動車を運転すれば頭部損傷自転車事故も減らせることが出来ます。それぞれの立場があるので、それぞれすべての視点での教育を強化していくべきではないでしょうか。
ヘルメット着用も大切なことです。でも、そこに不便さを感じる人が多いのであれば、啓発活動を増やしてヘルメットの必要性を意識させたり、不便さを解消できる方法を他自治体に先駆けて松本市独自でつくっていくことも大切だと感じました。</p> |
| <p>⑬ 自転車運転免許制度の創設と自転車へのナンバープレートの着用義務化を行うとともに、自転車運転の有無を問わず、小中高大学で年1回以上の自転車運転講習及び実習の受講を義務付ける。</p> |
| <p>⑭ イヤホンをしている自転車乗りをぜひ取り締まってほしい。</p> |

7. 自由記述

4. 交通ルール、交通安全について

(3) 高校生等のルール違反について

- | |
|--|
| ① 高校生の自転車が怖いです。 |
| ② 朝、高校生の自転車集団が十字路でも止まらず突っ込んでくるので怖い。 |
| ③ 若者の自転車の運転(集団走行、スピード、飛び出し等)が、危険と感ずることが多い。 |
| ④ 自転車で、自動車道路を走られるのは迷惑。危ないし、渋滞になる。ヘルメットだけでなく、左側交通も徹底してほしい。 |
| ⑤ 自転車走行時に歩道を走っていたり、車道を走っていたりする方をよくみますが、自転車のルールがいまいち浸透していないように思えます。 |
| ⑥ 自転車専用レーンは矢印等が印されているにもかかわらず逆走する自転車が多い。 |
| ⑦ 自転車の利用は健康増進や渋滞対策にも役立つと思うが、反面以下のような場面にも遭遇する。 <ul style="list-style-type: none">・自動車運転の際には、ルール無視の自転車走行に頭を悩ますことがある。・歩行者の立場としても、スピードを出しすぎている自転車走行に恐怖を感じる。 |

7. 自由記述

5. 自転車通行空間について

(1) 自転車通行空間(専用レーン、矢羽根マーク)の整備

- | |
|--|
| ① 市街地における歩行者と自転車の分離帯の増設やトンネルにおける自転車通行帯の設置をお願いします。 |
| ② 広い歩道は自転車レーンを整備してほしい。 |
| ③ 自転車は車道走行が基本とされているが、道路が狭く自転車を追い越す際、ふらついて道路側に出てこないかや、接触などとても危険を感じます。自転車専用レーンの早期設置を望みます。 |
| ④ もっと自転車専用道が増えれば、安全で利用者が増えると思います。あづみ野やまびこ自転車道も信州スカイパークまで早急に延長してほしい。 |
| ⑤ 本当に自転車レーンが必要な、車道も歩道も狭くて通行量の多い道路(例えば松島橋から堀米新田までの区間)は、矢羽根表示の整備予定がなく残念に思う。幅広で整備しやすい道路を優先して整備計画に入れているように思われるが、そういった道路はそもそも危険性が低いため、優先順位を高くする合理性はないと思う。 |
| ⑥ 市街地は道が狭いので自転車に乗りづらいです。車道横に赤色の矢印がついているところは、できるだけそこを通るようにしていますが、車がいるときはとても通れるような幅がないし、後ろから猛スピードで車が来ることがあり危ないと感じます。 |
| ⑦ 自転車専用レーンに車がとまっていることが多いのでそれを避けるときに危険を感じる。 |
| ⑧ 中心市街地は道路が狭く、自転車と自動車が近い距離で走らなくてはならないため、ヘルメットの有無に関わらず恐怖を感じる。 |
| ⑨ 穂高からの通勤で稀に自転車を使用しますが、サイクリングロードの整備が重要と思います。路面状況の改善や道路横断の削減をすることで、日常利用だけでなく観光に活用できると思います。(今の状態だと子連れで利用しようとは思わない。)また行政区画の境界で道が途切れてしまうことも残念です。 |

7. 自由記述

5. 自転車通行空間について

(2) 道路の整備

- | |
|--|
| ① 自転車レーンが整備された道路が増えたのは良いと思う。ただ、一部街路樹の枝が車道側(自転車レーン上)に飛び出していて通行の妨げになっている場所も見られるので、周辺環境の整備も行うべきでは。
お城の北側の道路は道幅が狭く交通量も多いため、怖くて自転車レーンを走れない。自転車の肩身が狭く感じる。 |
| ② 原付などの免許が必要な乗り物とは異なり、簡単に便利に乗れるものと認識していた。手軽に使用できる移動手段がなくなるのは残念である。安全性を重視するのであれば、自転車・歩行者・車の道路環境の整備にも注力していただきたい。特に歩道は狭くてガタガタ、斜めになっていたり歩行者にも自転車を通るにしても移動しづらい道路状況になっている。 |
| ③ 自転車利用する際、道の溝や小石・砂・段差などがとても怖い。車で運転してる方も怖い。利用する道路の整備をお願いしたいです。 |

6. その他

- | |
|--|
| ① 自転車のヘルメットを着用しない理由も調査した方が、着用率向上のための参考になると思います。 |
| ② 市役所に空気入れの設置を希望します。 |
| ③ スタンドのない自転車用にバイクスタンドを充実させて欲しい。 |
| ④ 駐輪場がある店が少ないと思います。店の前などの邪魔な場所にとめるしかないような店が多く、道中で気になった店に立ち寄り、という気持ちになれません。
狭い通りではお店ごとに駐輪スペースはとれないと思うので、通りごとなどで駐輪スペースがあって、そこに止めて歩いて散策ということができれば嬉しいです。
シェアサイクルの貸出しスポットのように、自転車が止められる場所が検索できれば、車ではなく自転車で出かけようという気持ちになります。 |

7. 自由記述

6. その他

- ⑤ ゼロカーボンに向け、自転車と共に原動機付き自転車の利用拡大は重要なテーマではないかと思えます。EVの利用拡大よりも現実的であり、エネルギー使用効率がよいです。(実燃費70km/Lは出せます)1名あるいは2名で自動車に乗車している市民がいることは勿体ないことです。
- ⑥ 公用自転車を含む自転車全般について、整備不良のことが多い。特に、各課保有の公用自転車については、点検整備費用の予算計上は必須とし、市民全般への自転車の点検整備の模範とすべきと考えます。
- ⑦ 共済のヘルメットを購入したが、思ったより小さく、家族の頭が入らず、残念だった。もう少し大きめで、安価なものがあれば、掲示板でぜひ紹介してほしい。
ロードバイクも止めやすい駐輪場を整備して欲しい。また個人店やコンビニにもロードバイクが止められるスタンドを整備する補助をしていかがでしょうか？
ヘルメットについて、子供や若年層向けのデザインは豊富になってきたが、高齢者にも抵抗感のないデザインがもっと出てくることを望む。
- ⑧ 自転車は便利な乗り物で、手軽な手段でありましたが、近年、不便な乗り物になりました。利用するのが面倒くさく、自分自身は自動車の利用が増えました。自転車以外の交通手段がない場合に仕方ないから乗るという感じとなっています。
そもそもは迷惑な場所に駐輪する自転車が多くなったせいで駐輪場に止めなくてはいけなくなりましたが、駐輪場より駐車場の方が探しやすいし、駐車場の数も多く目的地の近くにもあつたりするので、自動車の方が楽です。
自分も含め将来は自動車を運転できなくなったり、交通弱者の立場からすると、自転車は有効な交通手段の一つです。
ヘルメット着用を機に、自転車に乗るのをやめたという人が出てこないで、便利な交通手段と思う人が多いと良いです。
市役所職員のヘルメット着用率が高いというのは誇れることであり、また良い啓発の機会となっていると思います。
知人の会社では、市役所の良い例を出して、自分の会社でもみんなヘルメットを着用するようとしたとのこと。市民に対する啓発として、良いお手本となっているのだと感じました。

7. 自由記述

6. その他

- | |
|---|
| ⑨ 職員が萎縮するので管理職が駐輪場に立つのは良くないと思います。 |
| ⑩ 自転車置き場でヘルメット着用の呼びかけをするのは邪魔です。あの呼びかけの効果があるのでしょうか。時間の無駄に思います。 |
| ⑪ 自転車ヘルメットをかぶっていない場合の事故のことを殊更主張している時点で担当課は法律の趣旨をわかっていない。また、事故のことを言うなら高齢者の運転免許返納、日常的な交通ルール違反を守らないことによる事故がはるかに多いことを知らないのでしょうか。 |
| ⑫ ヘルメット着用義務化は愚策、年齢を限定すべき。子供の自転車使用の機会が少ないこと、これが将来の自転車利用に繋がらない要因。子供達の健全な成長を妨げていると思う。絶対に自転車で遊ぶ機会が少ない。 |
| ⑬ 正規職員はかなりの確率で着用しているように感じますが、会計年度職員はそうでもないように見受けられます。私は市職員として、市民啓発のために着用しているとまでは言えませんが、職員であれば率先して着用するのが当たり前だと思います。会計年度職員を採用する、あるいは継続雇用する際に、心構え的なものを指導すべきと考えます。来てもらっているお客さんじゃないのですから…。 |
| ⑭ このアンケートに「70代」の欄がないのはどういうわけですか？自転車アンケートに「70代」関係ないのでしょうか？せめて「60代以上」としてほしかったです。 |
| ⑮ この調査の年代欄に「70歳以上」の欄がないのはなぜですか？「60歳代」までというのはおかしいですね。 |
| ⑯ 一番初めにヘルメット着用努力義務の掲示が出た際、共済で会計年度職員もヘルメット購入の際補助金が出ていたと記憶しています。しかし、その後補助金対象から外れてしまったのか記載が無くなり、買う機会を逸してしまいました。 |

7. 自由記述

6. その他

⑰

○日常利用に関すること

1. 国で決まったことを覆すことは不可能だと認識しているが、ヘルメット着用努力義務化は自転車推進にとって大きなマイナス。自転車利用先進国のオランダではヘルメットは義務化せずに、インフラの整備で危険性を軽減しており、本来であれば日本もそういった方針で自転車推進を目指すべき。オーストラリアではヘルメットの義務化以後、自転車利用者が大幅に減少してしまったデータも存在する。

2. 自動車運転者・自転車運転者双方への道交法・運転マナーの継続的な啓発が必要。

3. 市街地の駐輪場が少なすぎる。大規模な物でなくてよいので、歩道等に小規模な物を細かく設置して欲しい。

4. 自転車利用者を増やすためには安全・快適な自転車走行空間の整備が必要。

(最低限でも矢羽根マークの設置。自転車レーンの設置を基本とし、理想としては物理的に分離された自転車レーンの整備。)

5. 複数存在する堤防道路の時間帯通行止めやバンプの設置など、自転車・歩行者が安心して通行できる環境の整備が必要。

6. 形骸化しているゾーン30ではなく、塩尻市などでも実施されているような「ゾーン30+」の整備が必要。ぜひ通勤・通学時間帯の危険な交通状況の視察をお願いします。

7. 粗悪品や自転車用以外のヘルメットの着用を頻繁に見かけます。自転車専用ヘルメット装着の啓蒙をお願いします。

○レジャー利用に関すること

1. eBike(スポーツタイプ)の活用により、本格的なサイクリスト以外にもサイクリングを楽しめます。既に実施しているかもしれませんが、eBikeを活用したツアーなどの視察をお願いします。

2. 松本平から多くのマウンテンバイク競技のオリンピック、全日本チャンピオンが輩出されています。行政がバックアップしたMTBコース(クロズドエリアを想定。レジャー層向け・選手層向け)や公認ルート(パブリックエリアを想定。レジャー層向け。)の整備が必要だと思います。